

信州のみち



豊かな地域づくりをめざして



巻頭言

豪雨災害を振り返って

長野県道路整備期成同盟会 会長 清沢 英男

1

みちづくりへの想い

～松川インター大鹿線のトンネル開通で通りやすい道路に～

大鹿村 木下 晴香

1

時の話題

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（道路関係）

長野県建設部 道路管理課・道路建設課

2

道路施設の老朽化対策について

長野県建設部 道路管理課

2

園児の交通事故を受けた緊急交通安全対策について

長野県建設部 道路管理課

3

供用箇所の紹介

三遠南信自動車道 天龍峡IC～龍江IC間の開通

飯田市長 牧野 光朗
三遠南信自動車道建設促進飯田市九地区期成同盟会 会長 木下 博史

3

供用箇所の地域の声

国道254号宇山バイパス建設促進期成同盟会 会長 小池 宗夫
軒川地区分館長 市川 太郎
安曇野市塚原区 区長 福住 修
鴨之尾組長 大日方 雅夫

4

主な供用箇所（平成31年1月～令和2年1月）

4

地域の道から

道の駅の紹介

南信州うるぎ・いくさかの郷・野沢温泉

5

信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）

好きです相木!!にそうとん花を!! 植える会

6

道路事業功労者表彰

飯伊砂利採取販売協同組合・開田高原倶楽部・富が原環境美化整備委員会

6





豪雨災害を振り返って

長野県道路整備期成同盟会 会長 **清沢 英男**

日頃より本同盟会の活動に対しまして、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月12日から13日にかけて本県に接近した台風19号では、尊い命が失われ、8千名を超える方々が家屋の被害を受けるなど甚大な被害が発生しました。犠牲となられた方々には謹んで哀悼の意を表すると共に被災された皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

この台風は、本県においても東信地域などで記録的な大雨をもたらし、千曲川流域を中心に県内各地で河川が氾濫し、道路施設についても河川に近接する部分の流失や橋梁の損壊などが多数発生しました。

台風19号豪雨をはじめ近年、自然災害が頻発化、激甚化しており、災害に備えた強靱な国土づくりが喫緊の課題となっています。災害時でも道路の機能が維持できるよう、昨年度から「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により防災事業等を集中的に行っているところです。この対策は来年度までの計画となっておりますが、急峻な地形、脆弱な地質の本県においては、令和3年度以降も継続し、中長期的な取り組みとしていくことが必要です。

また、中央自動車道笹子トンネル事故を契機に法定化された道路の点検は、昨年度までに一巡目が完了しました。本県における県・市町村管理の道路では、早期に措置を講ずべき橋梁の割合が全国平均を上回る結果となっています。早急に老朽化対策を実施しないと、平常時でさえも道路の機能が確保できなくなることが懸念されています。

この災害で道路が寸断された地域では、通勤や医療などの日常生活や、物流や観光などにも大きな影響を及ぼし、改めて道路の必要性を認識したところです。

災害に強い道路の整備と、道路施設の老朽化対策が着実に推進できるよう、本同盟会では、要望活動や広報活動に努めてまいりますので、引き続きの御支援、御協力をお願い申し上げます。



～松川インター大鹿線のトンネル開通で通しやすい道路に～

大鹿村 木下 晴香 様

大鹿村は、長野県の南部「南信州地域」の北部に位置し、南アルプスと伊那山地に囲まれた人口約1,000人の村です。

大鹿村といえば、平成29年に地芝居としては初めて国の重要無形民俗文化財に指定された「大鹿歌舞伎」が有名で、300年余の歴史があります。毎年5月3日と10月の第3日曜日に行われる定期公演には、毎回約2,000人の皆さんが訪れます。

大鹿村につながる道路は、主に「分杭峠」を越える「国道152号」と、小渋川に沿って曲がりくねった「主要地方道松川インター大鹿線」の2本しかありません。

私の職場は伊那市内にありますが、山岳道路で冬期は通行止めとなる「国道152号」が通年通行できないため、道幅が狭く急なカーブが連続する「主要地方道松川インター大鹿線」を、車で1時間程かけて通勤しています。

平成30年度には、「主要地方道松川インター大鹿線」に、「西下トンネル」と「東山トンネル」という2本の新しいトンネルが完成し、通勤時間が5分から10分程短縮となり、曲がりくねった道路がまっすぐになったことから、安心して通行できるようになり、気持ちも楽になりました。

新しいトンネルが開通する前は、狭い道路の真ん中近くを

走ってくる対向車が多々あり、危険を感じていました。私も移住当初は同じような運転だったかもしれませんが、村内から村外へ通勤している方、村外から村内へ通勤している方は、ほぼ毎日同じ道を通るので慣れていていると思いますが、観光等で大鹿村を訪れる方にとっては、運転に気を遣う道路だったと思います。また、度々発生する落石や土砂崩れの心配もなくなり、安心して通行できるようになりました。2本のトンネルが開通した今、以前に比べ車の流れも良いように思えます。道路が良くなり、運転が少しでも楽になれば、身体への負担も減ります。

平成30年8月に開駅した道の駅「歌舞伎の里大鹿」には、村内で収穫した野菜、ブルーベリー、特産の大豆を使った加工品やジビエ料理などを求めて多くの皆さんが来てくれるようになりました。

今後も松川インター大鹿線は道路の拡幅工事が行われると聞いておりますので、安全で安心して通行できる道になると期待をしています。今後さらに観光のお客さんが訪れやすく楽しんでもらえる村に、そして住民が生活しやすい村となるように願っています。

長野県建設部 道路管理課・道路建設課

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（道路関係）

国では、相次ぐ豪雨、地震等で、多くの尊い人命が失われ、また、重要インフラの機能に支障を来すなど経済や生活に多大な影響が発生したことから、重要インフラの緊急点検結果等を踏まえ、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策を、2020年度までの3年間に集中して実施することとして、平成30年12月14日に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を閣議決定しました。

これを受けて、長野県も災害を未然に防止するための対策を推進し、道路事業では、①特に落石や法面崩落、土砂災害等の危険性が高い箇所について、法面対策やバイパス整備による危険箇所回避等の緊急対策、②特に勾配が急な箇所など車両がスタックする可能性が高い箇所について、無散水消雪施設設置や道路改良による縦断修正等の緊急対策、③特に避難路情報を提供する道路情報施設、避難場所として利用される道の駅、停電時にも安全な交通を確保する必要があるトンネルについて、発電機や蓄電池による無停電対策等の緊急対策を実施しています。



法面対策の状況(飯田市)



バイパス整備の状況(上田市)

長野県建設部 道路管理課

道路施設の老朽化対策について

高度成長期に建設された道路施設の老朽化が進み、橋梁を例にとると10年後には完成から50年（老朽化の目安となる年数）を経過した数が、すべての橋梁の約6割を占める見込みです。

このため、県では橋梁、トンネル、シェッド等の施設について、定期点検の結果を踏まえた「長寿命化修繕計画」を策定しており、大規模補修が必要になる前に修繕を行う「予防保全」の考え方を取り入れることで、効果的・効率的な老朽化対策に努めています。

○県管理橋梁の道路法に基づく法定点検結果（H26～H30）

	全数	判定レベル			
		Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
橋梁数	3,820	3	984	1,936	897
(割合)		0.1%	26%	51%	23%

(レベルⅣ：「緊急措置段階」)

(レベルⅢ：「早期措置段階」)

(レベルⅡ：「予防保全段階」)

(レベルⅠ：「健全」)

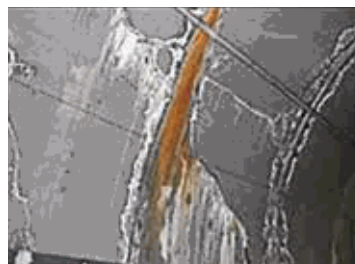
早期の対応が必要な橋が約990橋



(橋梁老朽化の状況)

○その他の道路施設（県管理道路）

- ・法定点検施設
 - トンネル：197箇所
 - シェッド：124箇所
 - 横断歩道橋：131橋
 - 門型標識：43箇所
- ・法定点検以外
 - 舗装：約5,000km
 - 吹付法面、大型擁壁など



(トンネル老朽化の状況)



(スノーシェッド老朽化の状況)

園児の交通事故を受けた緊急交通安全対策について

～ 子どもの交通安全対策を進めます ～

令和元年5月の滋賀県大津市における園児の交通事故被害を踏まえ、長野県交通安全運動推進本部では、県内全ての保育所等942施設において訪問・聞き取り調査を行い、これに基づき保育所等、警察、道路管理者による合同点検を実施しました。

その結果、施設対策が必要と判断された500箇所については、警察、道路管理者が連携し、できるだけ早期に信号機の改良や横断歩道・一時停止の整備、ゾーン30(30キロ制限)指定、車止めや防護柵設置などの対策を講ずることとし、長野県管理の道路施設については、令和3年度までに必要な対策を講じることを目標としました。

長野県では今後も、通学路の安全対策と合わせ子どもの交通安全対策を推進してまいります。



緊急合同点検の状況(飯田市)

三遠南信自動車道天龍峡IC～龍江IC間の開通



三遠南信自動車道 天龍峡IC～龍江IC間の 開通に寄せて

飯田市長 牧野 光朗

この度、地権者の皆様方のご理解とご協力、関係各位のご尽力とご熱意のおかげで、令和元年11月17日に天龍峡IC～龍江IC間が開通いたしました。ここにあらためて深甚なる敬意と御礼を申し上げます。

開通により日常生活の利便性が高まるとともに、救急・医療施設へのアクセス向上と災害時の住民避難路や支援に必要な物資の輸送路としての機能も備わりました。また、すでに観光振興に大きく寄与しています。

言うまでもなく、三遠南信自動車道は東三河、遠州、南信州の三圏域を結び、地域の発展を支える重要な道路です。加えて、2027年度開業予定のリニア中央新幹線が呼び込む人や物の流れを地域の発展へと波及させいく上でも、本道路の果たす役割には大きな期待が寄せられています。

早期全線開通に向けて引き続き取り組んでまいりますので、関係する皆様のご支援をお願い申し上げます。



三遠南信自動車道建設促進飯田市九地区区成同盟会
会長 木下 博史 様

三遠南信自動車道 天龍峡IC～ 龍江IC間の開通を祝って

令和元年11月17日、待望の三遠南信自動車道 天龍峡IC - 龍江IC間が開通しました。この開通により、天竜川の東と西を繋ぐ大動脈が完成し地域の交流や観光や経済、そして安全安心の向上に大きな期待をしております。天龍峡大橋には添架歩廊(そらさんぽ天龍峡)が設置され、新名所として注目を集めています。今後、リニア開業と合わせ三遠南信自動車道の早期全線開通に向けて、関係各位の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、御礼の言葉とさせていただきます。



天龍峡大橋



添架歩廊(そらさんぽ天龍峡)内部



供用箇所地域の声



国道254号宇山バイパス建設促進期成同盟会
会長 小池 宗夫 様

「国道254号宇山バイパス 開通にあたり」

立科町宇山地域の国道254号「宇山バイパス」が令和元年9月21日に開通し、関係各位皆様にご出席いただき、式典が行われました。また、当日は、式典前に開通前ウォーキングを開催したところ約150名の参加者がありこちらも好評いただきました。完成したバイパスは長さ1260mその間に「宇山大橋」も設けられ、長年の地域住民の望みであり、重要な生活路線であります。また、佐久地域から上小・松本地域へのアクセスも良くなり、様々な面で利便性も高まります。

昭和の時代に計画され、平成の時代を経て令和の時代に開通という慶びとともに、貴重な土地を提供して下さった地権者の皆さまをはじめ、「宇山バイパス」完成にご尽力いただきました関係各位皆さまに感謝申し上げます。



軒川地区分館長
市川 太郎 様

「国道418号軒川バイパス 全線開通を祝って」

平成24年に売木峠バイパスが完成してからはなお一層軒川バイパス全線開通を売木村民だけでなく売木を訪れる観光客の皆さん、マラソンランナーの皆さんが待ち望んでいました。今までの国道418号は一部道路幅が狭かったり、主要地方道阿南根羽線は日陰部分が冬場凍結したりしていましたがこのたびの国道418号バイパス開通により交通がスムーズになりました。また、歩道を整備していただいたので子供達が安全に通学できるようになりました。

軒川バイパス開通に携わっていただいた多くの方々に感謝申し上げます。



安曇野市塚原区
区長 福住 修 様

「主要地方道塩尻鍋割穂高線 安曇野市塚原の開通に寄せて」

安曇野市の塚原地区のミニバイパスが開通したことを喜ばしく思います。

当地区の近隣には国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）や穂高温泉郷があり、この路線は、地域住民が利用する生活道路であるとともに、多くの観光客が訪れ、通過する道路です。この道路の改良に携わった方々のご苦勞に感謝すると共に、この道路の改良が地域の振興・発展に寄与することを期待しています。



鴨之尾組長
大日方 雅夫 様

「小川村道20号線 鴨之尾橋開通に寄せて」

この度、長年地元が待ち望んでいた鴨之尾橋の移転架け替え工事が完成し令和2年1月に開通を迎えることが出来ました。

完成前の橋は老朽化が進み、幅員が狭く車のすれ違いが困難なうえ、橋下が狭く大雨時には流木等が引っ掛かり水位が上昇し生活に不便と不安を感じておりましたが、橋の移転架け替えにより歩行者や車の安全な通行と大雨による不安が解消され、ようやく安心して生活が出来るようになりました。

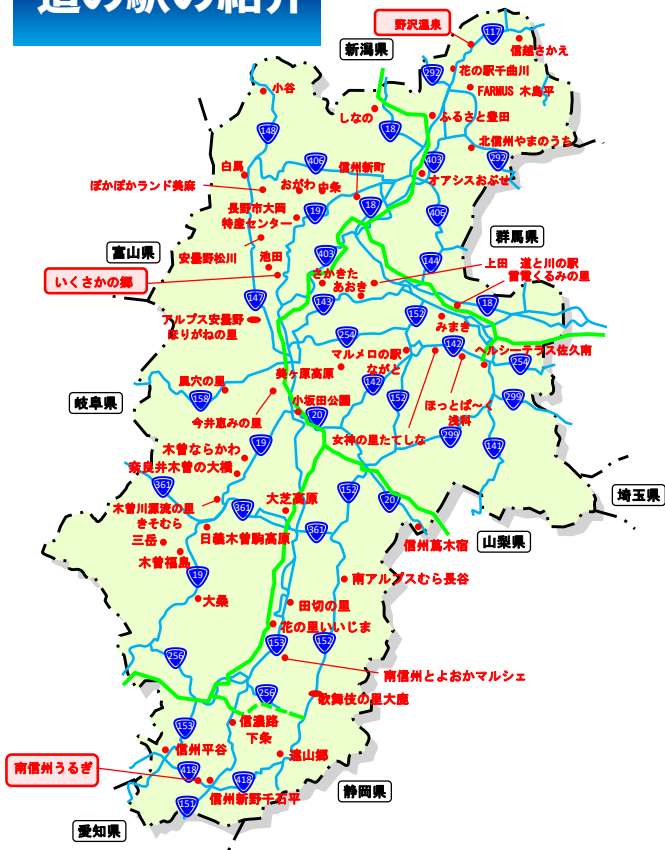
このことは貴重な土地を提供していただいた地権者の皆様、長野県及び小川村や工事関係者の皆様のご尽力のおかげであり、地元住民の一人として感謝申し上げます。



主な 供用箇所 (平成31年1月～ 令和2年1月)

供用日	路線名	市町村名	箇所名(ふりがな)	延長(km)	備考
平成31年 1月10日	(主) 塩尻鍋割穂高線	安曇野市	塚原(つかはら)	0.5	全線開通
平成31年 2月18日	(国) 256号	南木曾町	漆畑(うるしばた) 拡幅	0.9	全線開通
平成31年 3月28日	(主) 松川インター大鹿線	中川村	渡場(どば)～滝沢(たきざわ)	2.2	全線開通
令和元年 7月 8日	(国) 254号	上田市	東内(ひがしうち)～西内(にしうち) 和子(わご) 工区	1.8	部分開通
令和元年 9月21日	(国) 254号	立科町	宇山(うやま) バイパス	1.7	全線開通
令和元年11月 7日	(国) 418号	売木村	軒川(のきがわ)	0.7	全線開通
令和2年 1月17日	(村) 20号線	小川村	鴨之尾橋(かものおばし)	0.1	全線開通

道の駅の紹介



いくさかの郷（生坂村）

「山紫水明、食と文化癒しの郷」である生坂村に、長野県内では50番目となる道の駅「いくさかの郷」が誕生しました。

直売所では、生坂村の農産物や農産加工品として、春は山菜、夏は桃、秋にはぼどうや松茸、冬は干し柿などそれぞれ季節の魅力をお届けしています。

また、交流都市である北海道標津町と三重県熊野市の特産品を販売するコーナーや、ハンガリー特命全権大使より「ハンガリー村」としても認定されていることから、ハンガリーの名産品を販売する特産品コーナーもあります。



施設内の「かあさん家」では、生坂村名物の「灰焼きおやき」や手打ちうどんの「おにかけ」など、生坂村でしか味わえない郷土食を提供していますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

HPアドレス <http://www.village.ikusaka.nagano.jp/ikusakanosato/index.html>

南信州うるぎ（売木村）

2018年11月1日に開駅した道の駅です。

長年「うるぎふるさと館」として親しまれてきた施設が道の駅として登録されました。国道151号と国道153号の間を走る国道418号沿いという立地を生かし、東海・愛知県尾張・西三河地方から訪れるドライバーの拠点として、近隣の大型道の駅とはひと味違った、気軽に立ち寄りゆったりのんびりくつろげる道の駅を目指します。

村の中心部に位置して、都市と農村の交流拠点野菜の直売と土産物や特産品を販売しています。

豊かな自然がステージの、都会では味わえない「素朴さ」とのふれあい空間です。



併設レストラン『kitchenさるのこしかけ』では、地元産の旬の食材をメインに、信州そば各種、信州豚のトンカツやカレーをお楽しみいただけます。

HPアドレス <http://www.urugi.jp/db/miyage/post-25.html>

野沢温泉（野沢温泉村）

道の駅「野沢温泉」は、国道117号沿いに位置し、近隣には国内外で人気のスキー場や温泉があります。

農村立地を活かした農家レストランでは、野沢菜などの野菜をたっぷり使った「117っ葉カレー（いいなっばカレー）」や、地元の郷土料理研究会とのコラボメニューを提供しています。おかわり自由の地元産コシヒカリや野沢菜漬けはとも好評です。

施設内にはほかに、農林産物直売所、ショップ、パン工房などがあり、野沢温泉村の魅力が溢れる道の駅となっています。また、令和2年春には6次産業施設が開業し、豆腐などの大豆加工製品の生産を予定しています。

皆様のお越しをお待ちしております。

HPアドレス <http://www.nozawa-onsen.jp/>



信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）

好きです相木 !! にそうとん花を !! 植える会（北相木村）

1 活動内容の紹介

野に咲く「あやめ」を北相木では「そうとん花（ばな）」と呼んでいました。

大好きな北相木に恩返しがしたいと同級生有志が会を立ち上げ、平成28年から県道上野小海線沿いに「そうとん花」の花壇づくり、苗植え、草取り等の活動をしています。

2 活動団体のメッセージ

私たちは、北相木が元気で明るくきれいな村が元気で明るいきれいな村であってほしいと願っています。

地域の方、北相木を訪れる方が「そうとん花」を楽しんでいただくよう、これからも活動に力を注いでいきたいと思います。



道路事業功労者表彰

長野県道路整備期成同盟会定期総会（R元.9.5開催）において、道路事業功労者表彰を行い令和元年度は、3団体が受賞されました。

飯伊砂利採取販売協同組合様（大鹿村）

昭和53年から、小洪水系の良質な砂利骨材資源を運搬するため、主要地方道松川大鹿線及び主要地方道松川インター大鹿線を運搬路線として利用しており、この運搬路線の草刈りや路面清掃など安全確保と環境保全のための維持管理を継続的にい地域環境整備に大きく貢献した活動を行っています。

開田高原倶楽部様（木曾町）

平成20年から、開田高原の国道361号沿線において、路面清掃や草刈り、支障木伐採などの美化活動を約2.1kmにわたり実施しています。「日本で最も美しい村連合」に加盟している木曾町の中でも、開田高原は先行して加盟が認められるなど自然景観の保護意識が高い土地柄であり、住民自らが守ってきた美しい景観が来訪者の目を楽しませています。

富が原環境美化整備委員会様（信濃町）

平成17年から、一般県道栃原北郷信濃線沿線の草刈り作業を自主的に実施しています。作業実施箇所は飯綱高原・飯綱東高原や、主要地方道信濃信州新線を結んでの戸隠との観光ルートの一部になっており、車窓からの展望もよく、地元住民だけでなく多くの観光客が利用しているため、地域住民が一体となって道路環境・景観の維持に努めた活動を行なっています。

長野県道路整備期成同盟会第72回総会



事務局だより

*以下の行事を行いました。ご協力ありがとうございました。

第72回定期総会 (R元.9.5開催)



清沢英男会長 (長野県議会議長)



道路講演会 (R元.9.5開催)



国土交通省関東地方整備局道路部道路企画官松田和香氏を講師としてお招きをし、講演会を開催しました。

要望活動 (R元.10.29実施)



宮下一郎衆議院議員



後藤茂之衆議院議員



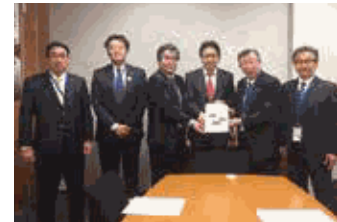
井出庸生衆議院議員



務台俊介衆議院議員



太田昌孝衆議院議員



杉尾秀哉参議院議員

要望活動 (R元.11.14実施)



青木一彦国土交通副大臣・道路局 野田勝官房審議官への要望



宮島喜文財務大臣政務官への要望

第19号 (令和2年2月)

発行：長野県道路整備期成同盟会

〒380-8570 長野県長野市南長野字幅下692-2

長野県建設部道路建設課内

電話 026-235-7318 (直通)

FAX 026-235-7391

印刷：カシヨ株式会社

「信州のみち」についてご意見・ご要望をお寄せください。